

28日 土曜

エペソ



5:22 妻たちよ。主に従うように、自分の夫に従いなさい。

5:23 キリストが教会のかしらであり、ご自分がそのからだの救い主であるように、夫は妻のかしらなのです。

5:24 教会がキリストに従うように、妻もすべてにおいて夫に従いなさい。

5:25 夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自分を献げられたように、あなたがたも妻を愛しなさい。

5:26 キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、

5:27 ご自分で、しみや、しわや、そのようなものが何一つない、聖なるもの、傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。

5:28 同様に夫たちも、自分の妻を自分のからだのように愛さなければなりません。自分の妻を愛する人は自分自身を愛しているのです。

5:29 いまだかつて自分の身を憎んだ人はいません。むしろ、それを養い育てます。キリストも教会に対してそのようになさるのです。

5:30 私たちはキリストのからだの部分だからです。

5:31 「それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりは一体となるのである。」

5:32 この奥義は偉大です。私は、キリストと教会を指して言っているのです。

5:33 それはそれとして、あなたがたもそれぞれ、自分の妻を自分と同じように愛しなさい。妻もまた、自分の夫を敬いなさい。

教会についても言及しています。両者は共通点があるからです。この世の始まりよりも前に、神は主イエスと救われた教会の永遠の合一をお定めになりました。そしてその愛の恵を表すことができるように、地上で夫婦の関係をお定めになったのです。

ですから妻は、教会がイエス様を愛して従うように、夫を愛して従うものなのです。それが祝福の道です。それは、素晴らしい夫であるという理由からではなく、イエス様に従うから…というものです。

夫は当然、イエス様が教会を愛したように妻を愛するべきもので、それは自分の命と引き換えにして相手を守るものです。そんなことは理想論だとして片付けることは簡単です。しかし、自分を愛するなら、自分のためにも妻を愛することです。それを知っているかどうか、またそうしたいと願っているかが、夫婦の関係を大きく変えるのです。

また教会も、そのようにイエスを愛するものです。教会の奥義を理解しないなら、夫婦のあり方も人間的な感情に左右されてしまい、うまくいかないでしょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

